

合同会見の実施について

北陸地方整備局 河川部

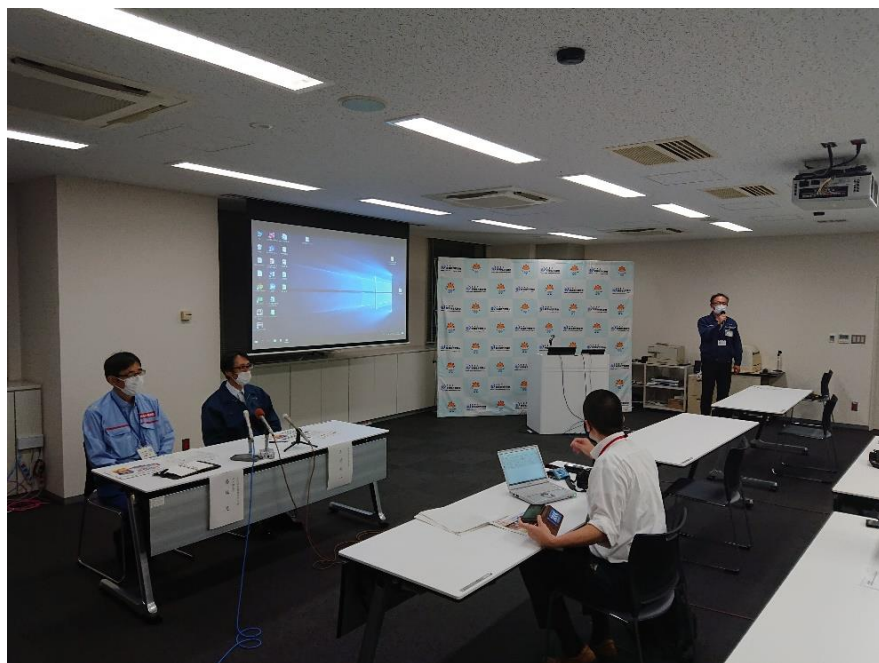
R4. 8. 4 新潟地方気象台と北陸地方整備局の合同会見

- ・新潟県村上市、関川村の大雨特別警報の発表に伴い、8月4日に新潟地方気象台と北陸地方整備局で合同会見を行いました。
- ・会見では、降雨への警戒、河川の増水・氾濫、低地の浸水、土砂災害の警戒を呼びかけました。
- ・また、「川の防災情報」により、リアルタイムの荒川水位（葛籠山・上関）を紹介し、今後の水位変化の見通しなどを説明。直ちに安全確保を行うなどの呼びかけを実施しました。

【合同会見実施状況】

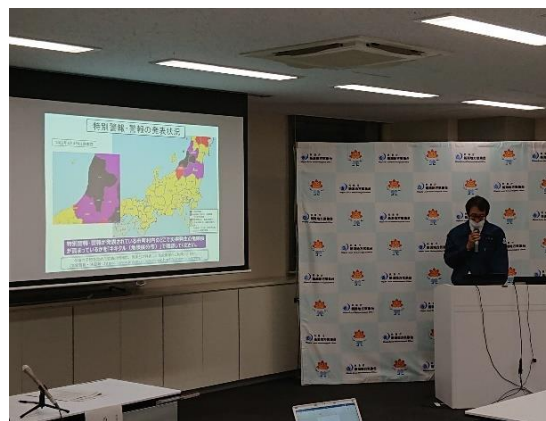
1 回目：大雨特別警報発令による会見
令和4年8月4日 3:20～

2 回目：大雨特別警報切替えによる会見
令和4年8月4日 9:00～



新潟地方気象台と北陸地方整備局の合同会見

場所：新潟地方気象台



新潟地方気象台からの説明



北陸地方整備局からの説明

北陸合同会見(強大な台風など)の整理事項【新潟県・富山県・石川県】

1. 基本方針

○合同会見は、「地方単位」で実施することを基本とする。ただし、必要に応じて「県単位」の合同説明会も実施できるものとする。

○「地方単位」の実施は、新潟県・富山県・石川県のいずれかで開催条件に合致した場合とする。

○「地方単位」の実施機関は、「整備局と新潟地方気象台」とする。

○合同会見の実施時には、新潟会場、富山会場、金沢会場を設営し、それぞれの会場をWEB方式で接続する。

※新潟会場(整備局又は新潟地方気象台)、富山会場(富山河川国道事務所又は富山地方気象台)、金沢会場(金沢河川国道事務所又は金沢地方気象台)。

○各県のマスコミは、各県の会場に集合するか、WEB方式で参加する。

○「地方単位」の説明は、新潟会場において「整備局と新潟地方気象台」が説明する。

○「地方単位」の説明終了後、「県単位」の合同説明会等が必要な場合は、「河川事務所と地方気象台」により各会場で引き続き実施する。

2. 開催条件

○開催の条件として以下が想定される。ただし、この条件で必ず実施するものではない。

①おそれ本部設置

・4日前に本省庁合同記者会見が開催され、北陸管内(新潟県・富山県・石川県)でも、大雨特別警報発表の可能性や氾濫発生の可能性予想される場合。

※氾濫発生の可能性(レベル4相当:氾濫危険情報⇒氾濫危険水位超過)

②台風接近

・3日前の台風進路より、北陸管内(新潟県・富山県・石川県)でも、大雨特別警報発表の可能性や氾濫発生の可能性が予想される場合。

③前線停滞により大雨が想定

・北陸管内(新潟県・富山県・石川県)でも、大雨特別警報発表の可能性や氾濫発生の可能性が予想される場合。

④大雨特別警報発表

⑤氾濫発生(レベル5相当:氾濫発生情報)

⑥大雨特別警報の警報等への切り替え時

・切り替え時の水位が、レベル5相当(氾濫発生)・レベル4相当(氾濫危険水位)・レベル3相当(避難判断水位))

3. 開催の時期

○2日前:14時(平日に行うことを基本とするが、状況によっては休日もあり)

○1日前:14時(平日に行うことを基本とするが、状況によっては休日もあり)

○当 日:随時(出来るだけ時間帯は配慮するが、深夜・早朝もあり)

○洪水中:随時(出来るだけ時間帯は配慮するが、深夜・早朝もあり)

※現時点の案としては、4～3日前は「資料配布(資料配布のみ)」とし、合同会見は想定していない。

北陸合同会見(強大な台風など)の整理事項【新潟県・富山県・石川県】

4. 説明内容

○新潟地方気象台は、今後の雨の見通しと警戒事項を予定。

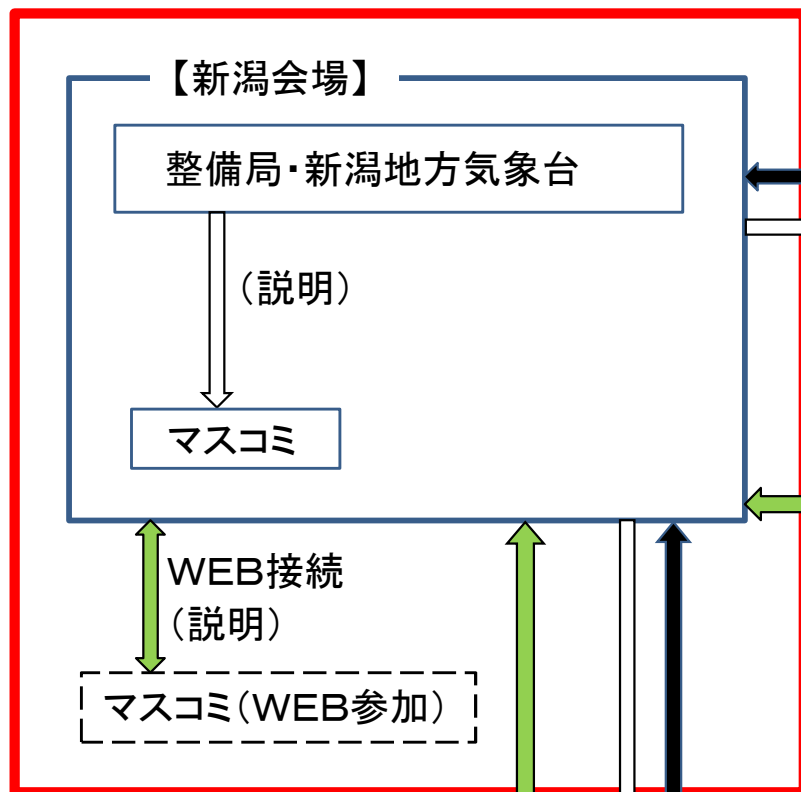
- ・防災留意事項
- ・天気図と気象衛星写真
- ・予想天気図
- ・注意・警報の予想時間帯
- ・早期注意情報
- ・危険度情報(キキクル)

○整備局は、河川の情報と命を守るポイントを予定。

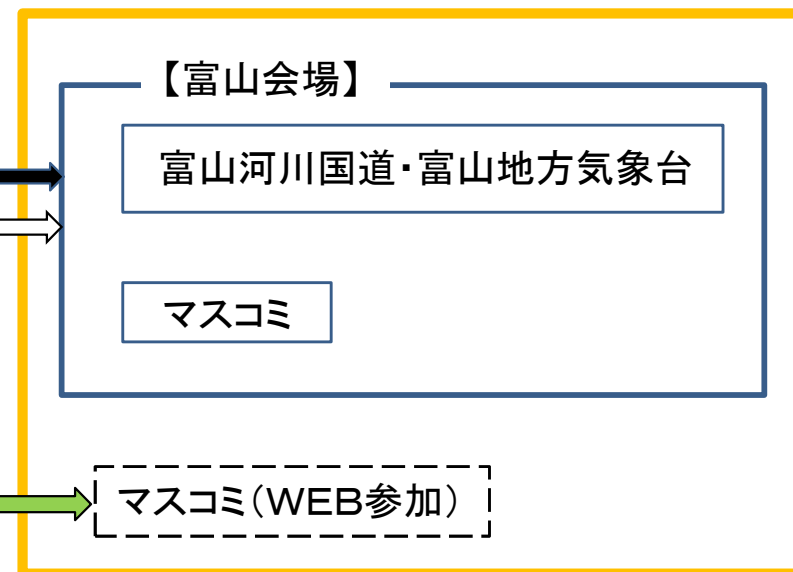
- ・避難に活かすリスク情報(水位に応じた避難行動、水位(現況・予測)、カメラ映像、ハザードマップなど)
 - ※「川の防災情報」などの操作実演を含む
- ・土砂災害に関する情報
- ・ダムの事前放流
- ・過去の洪水・浸水状況
- ・防災留意事項

北陸合同会見(地方単位)のイメージ

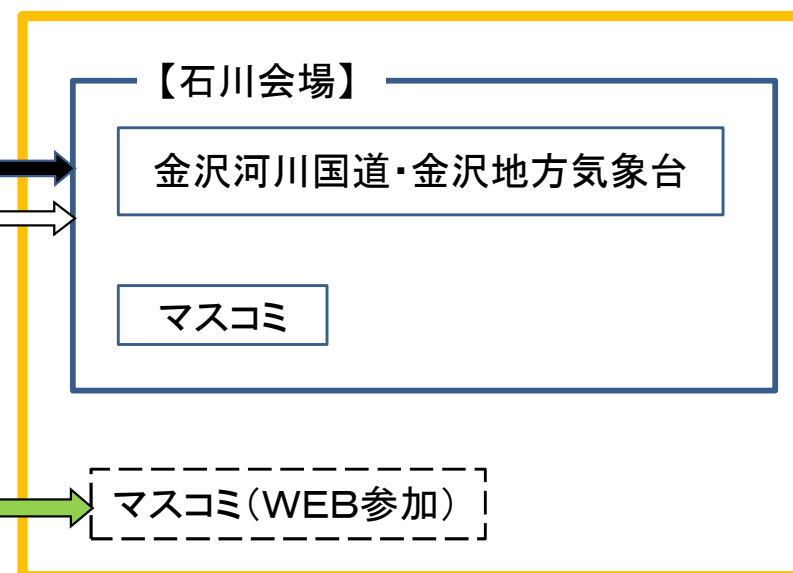
【新潟県】



【富山県】

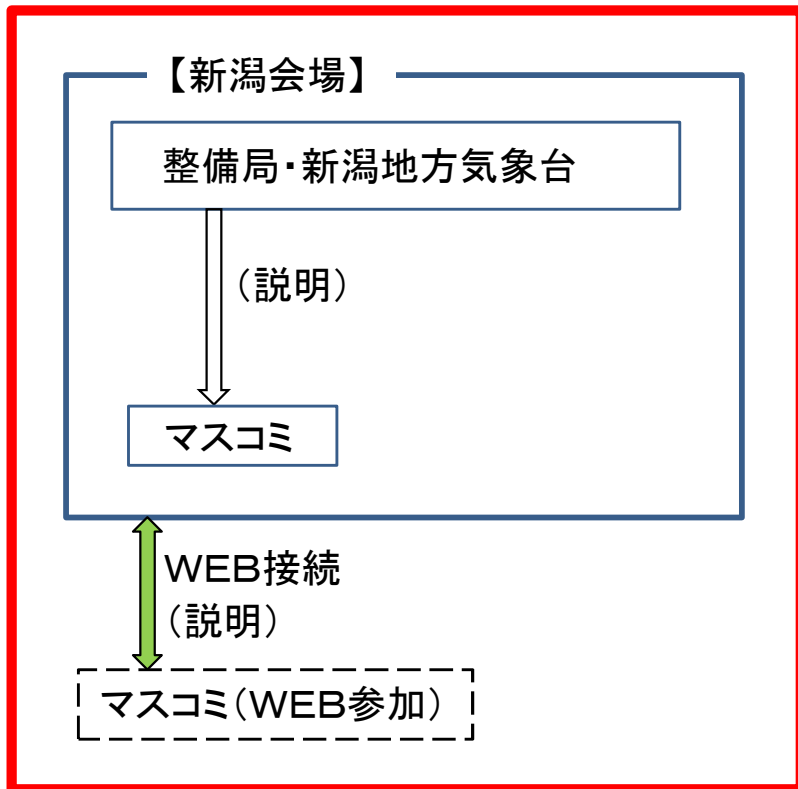


【石川県】

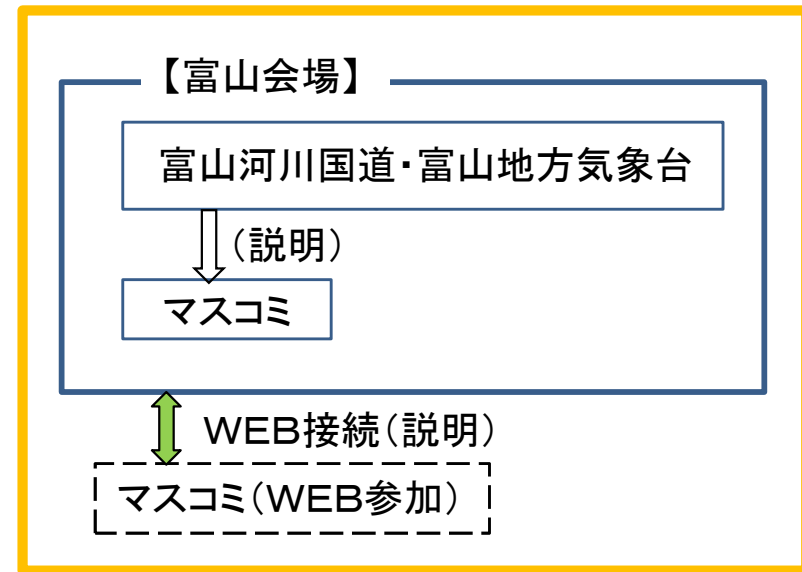


北陸合同会見(県単位)のイメージ

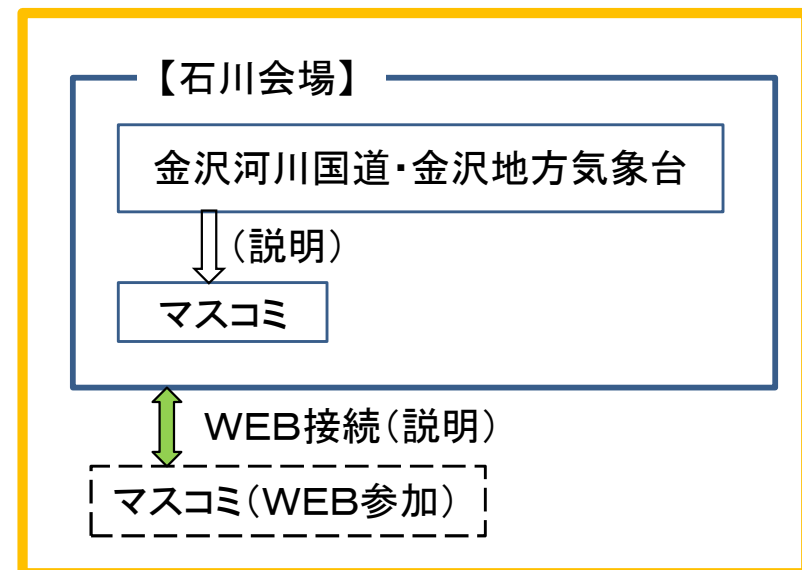
【新潟県】



【富山県】



【石川県】



参考資料①

新潟地方気象台、北陸地方整備局 合同会見資料

■ 8月4日 3:00(大雨特別警報発表時)

新潟地方気象台資料 P 1～P16

北陸地方整備局資料 P17～P20

新潟県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒 レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

新潟県に大雨特別警報発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

新潟県に大雨特別警報発表(詳細)

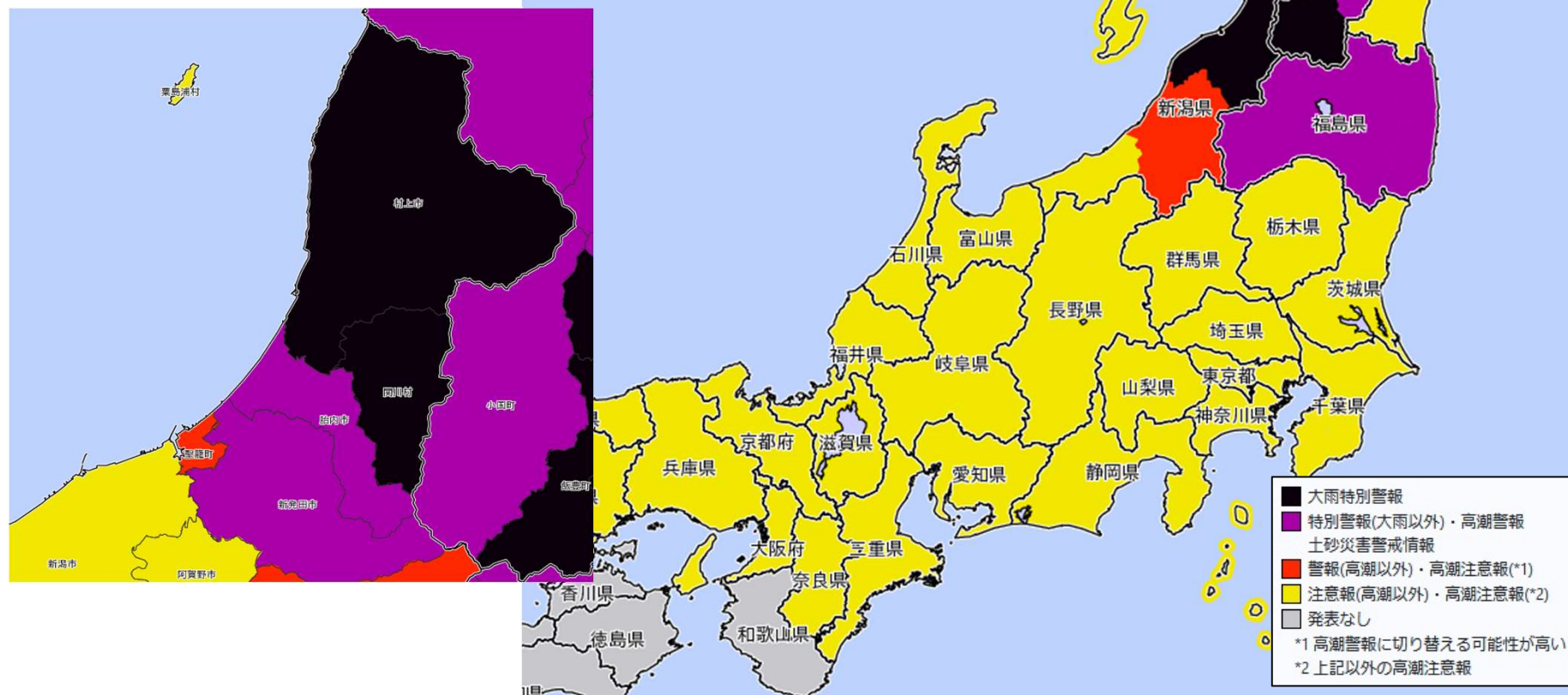
- 新潟県の村上市、関川村に大雨特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。

※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。

- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- 現在夜間であることから、避難する際には周囲の状況を十分に確認してください。
- 気象台が発表する防災気象情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

特別警報・警報の発表状況

2022年8月4日02時現在

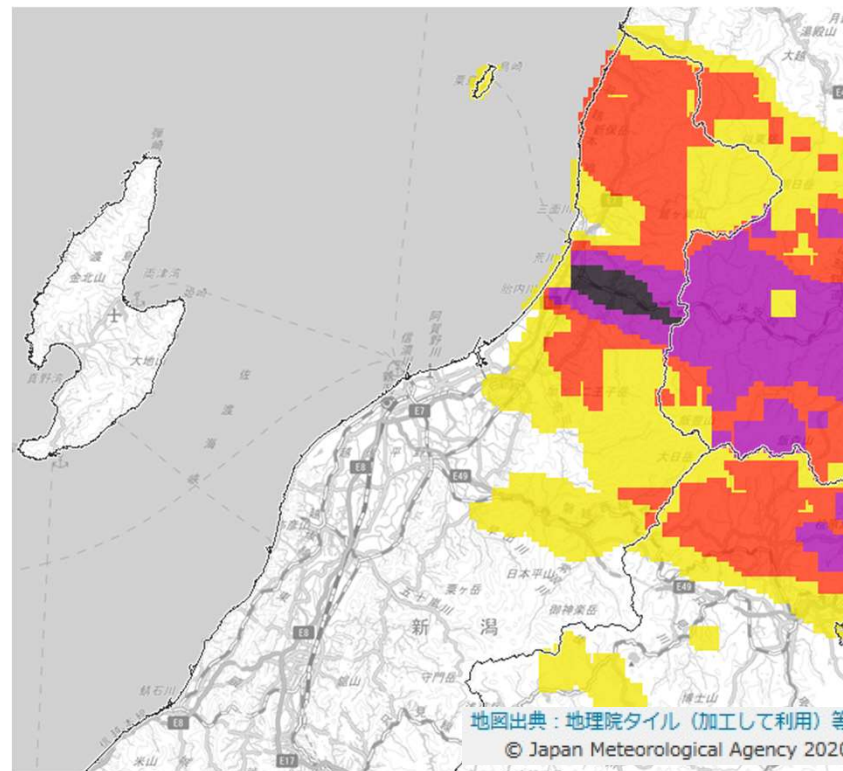


特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)

土砂災害 2022年8月4日02時40分

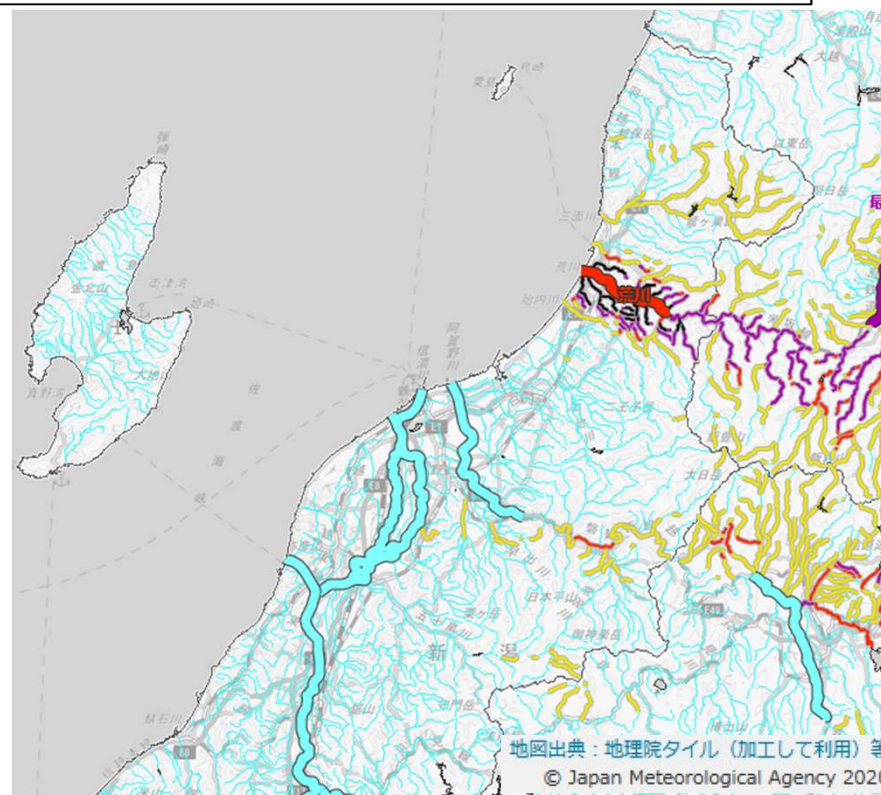


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)： <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

洪水害 2022年8月4日02時40分

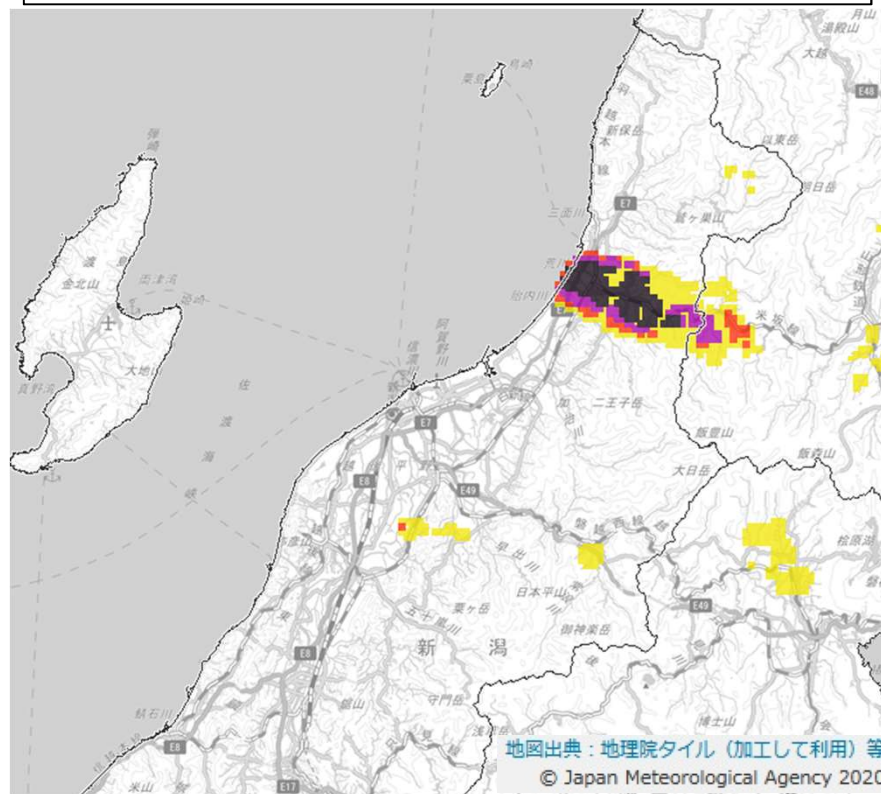


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布))：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

キキクル(危険度分布)

浸水害 2022年8月4日02時40分



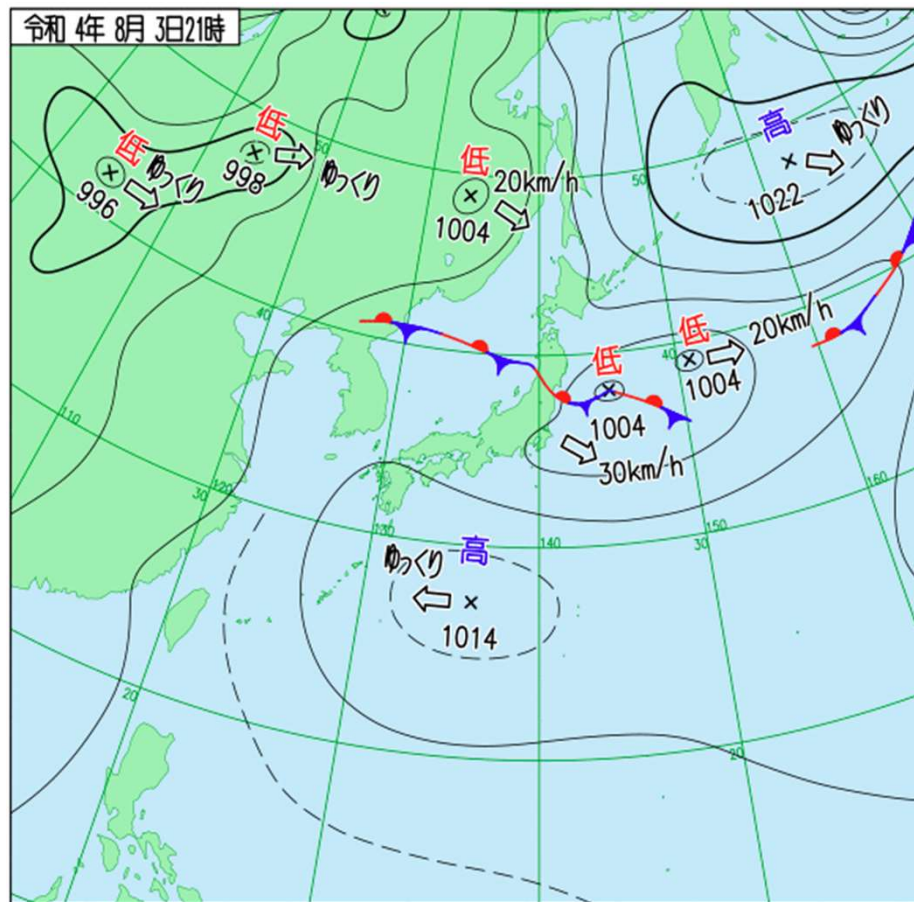
浸水害の危険度



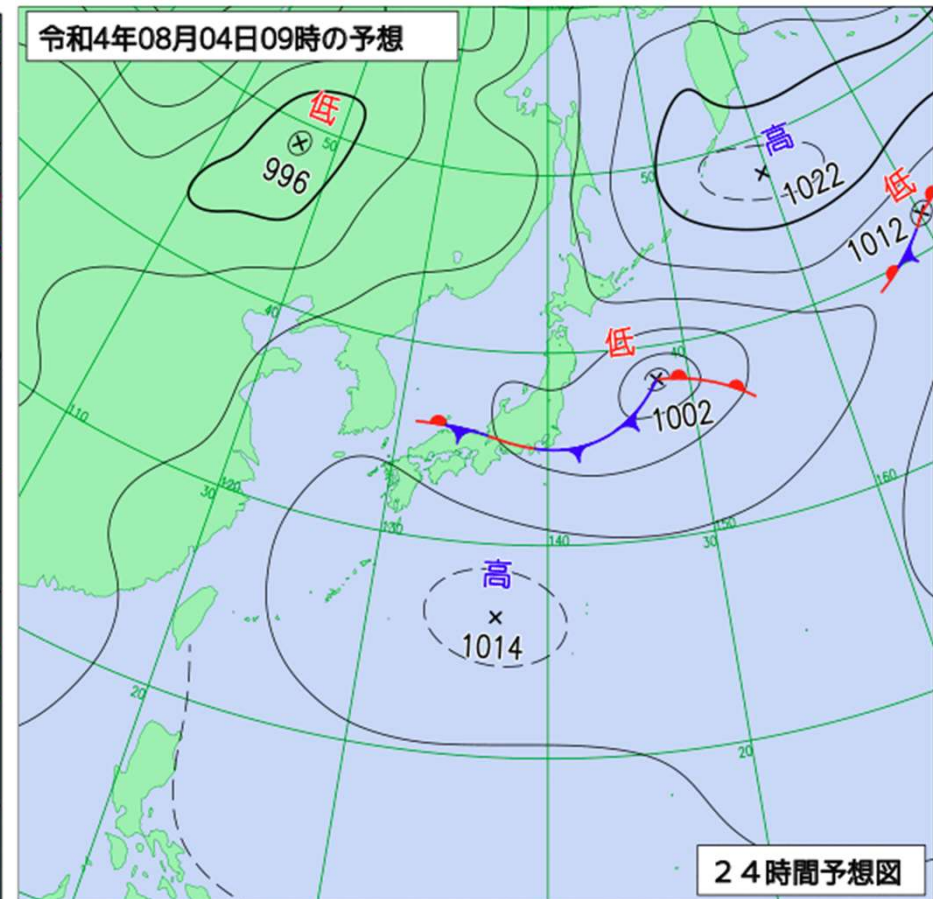
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

天気図



地上天気図
(8月3日21時)



予想天気図
(8月4日09時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

大雨の警報級となる可能性のある期間

新潟県		03日	04日	地域	05日	06日	07日	08日
種別		～06	06-24					
大雨	下越	[高]	[高]	新潟県	-	-	-	-
	中越	[中]	[中]					
	上越	[中]	[中]					
	佐渡	[中]	[中]					

[高] : 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。
 明日までの警報級の可能性が [高] とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を気象警報・注意報のページ (https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=150000) で確認してください。

[中] : [高] ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。
 明日までの警報級の可能性が [中] とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報 : <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

	5日00時までの24時間雨量(予想) (いずれも多い所)
下越	250 ミリ
中越	100 ミリ
上越	60 ミリ
佐渡	50 ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は、気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

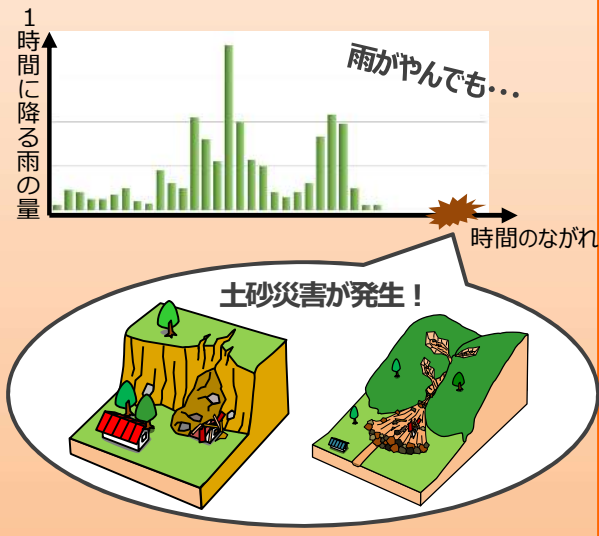


(参考) 大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

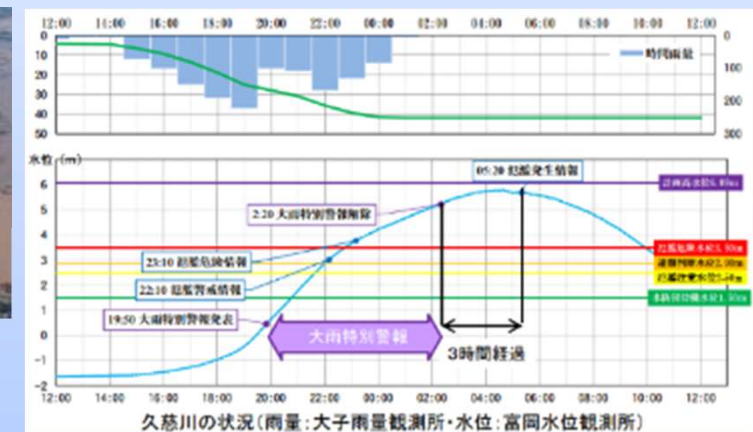
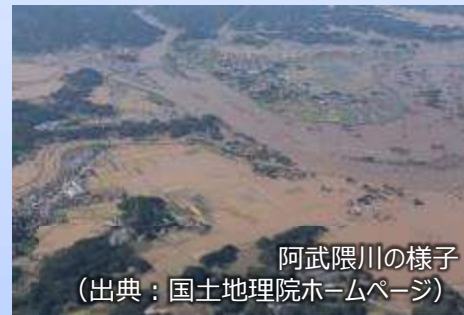
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考) 大雨特別警報とは

位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報			ギギクル (危険度分布)	相当する 警戒 レベル			
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報			災害切迫	氾濫 発生情報	5 相当		
<警戒レベル4までに必ず避難！>										
4	・危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報			高潮 警報	高潮 特別 警報	危険	氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	大雨警報 洪水警報			※ 高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報		警戒	氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報			高潮 注意報		注意	氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期 注意情報 (警報級の 可能性)							

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき
気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

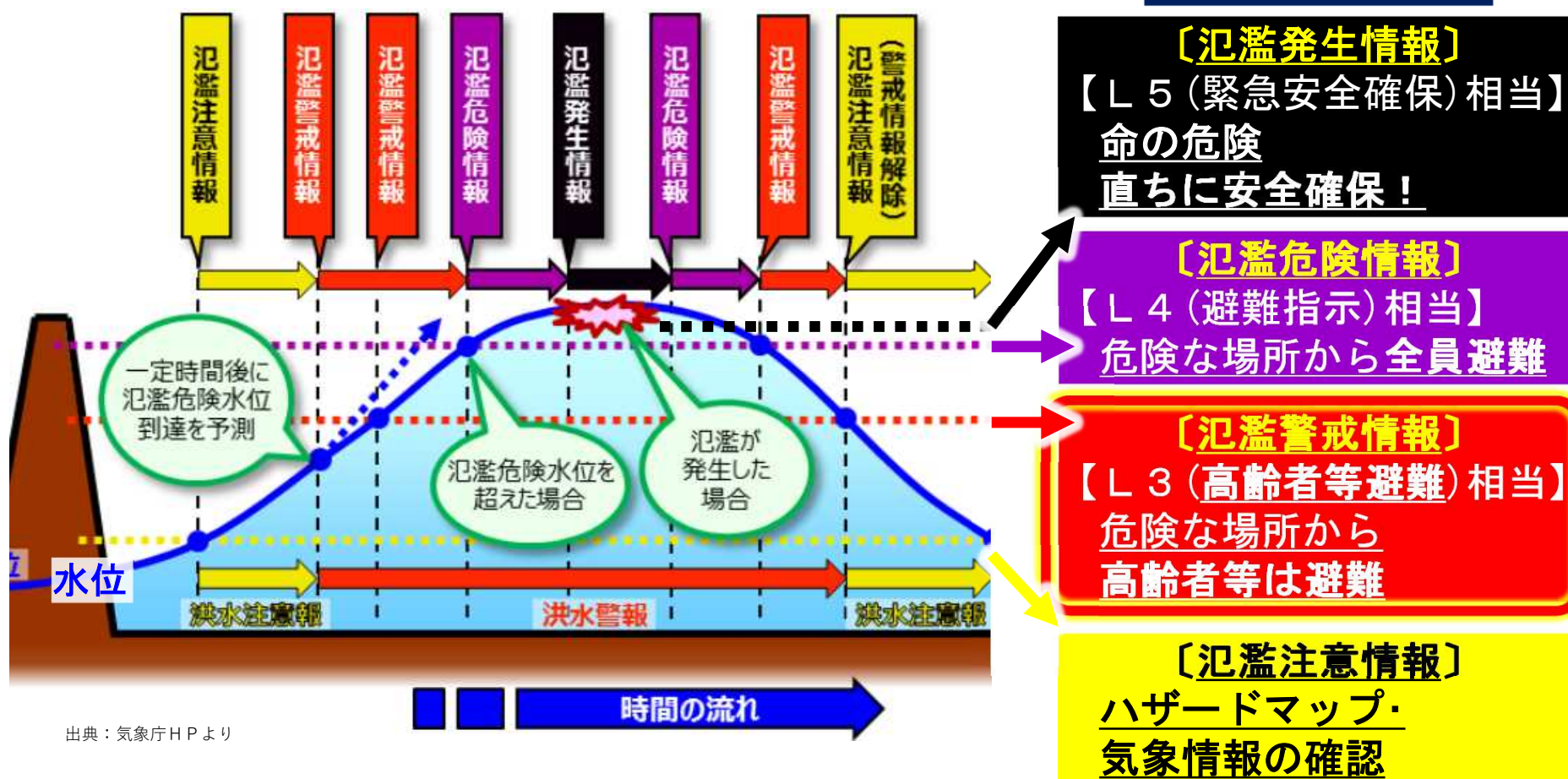
※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

- 会見当初に「川の防災情報」により、リアルタイムの荒川水位(葛籠山・上関)を紹介。
- 現況の水位が通常時より高いこと、今後の水位変化の見通しなどを説明。
- その後、以下資料を用い、洪水予報(河川情報)、川の防災情報で得ることが出来る情報を紹介。

避難に活かすリスク情報 ～洪水予報(河川情報)～

◆**リスクの高まり情報**の基準・目安到達で、
迷わず・空振りをおそれず【避難】行動を！

避難行動等



情報の探し方を選ぶ

サイト内検索

フリー検索 市町村名から検索 河川名から検索 観測所名から検索

検索したいキーワードを入力してください (最大3つ)

検索

自宅等のリスクを調べる

登録した地点の状況を確認できます。

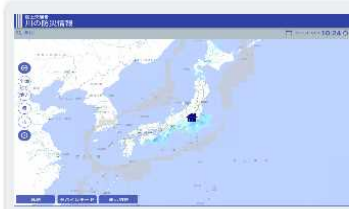
地点を登録

地点を登録

地点を登録

任意の地点を登録
自宅周辺などローカルな情報

地図から探す



日本地図を拡大し、見たい地域を選択できます。

市町村から探す



市町村内の各種情報をまとめて確認できます。

並べて見る



気象や水害・土砂災害に関する今の情報を確認できます。
(情報マルチモニタ)

地図から探す P5参照

レーダ雨量、河川水位、カメラ映像、ダム情報等を地図上に表示

情報を並べてみる

P3参照

気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等をパソコンやスマートフォンで閲覧可能

【注意点】

- ・IE(インターネットエクスプローラー)では表示できません。
- ・閲覧の際は、「Microsoft Edge」「Google Chrome」「Safari」からご覧ください。

「川の防災情報」ウェブサイト(<https://www.river.go.jp>)



“気象”×“水害・土砂災害”
情報マルチモニタ

北陸を選択

操作説明

全国 北海道 東北 関東 **北陸** 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録

地点登録

新着情報

北陸の状況

その他の情報

避難情報

避難情報
アラートの情報をもとに自治体発令状況一覧、詳細

府県内で発令中の最も高い警戒レベルに従い着色しています。

12:11

浸水の危険性が高まっている河川

伊根【基幹観測所】
（河川浸水予測）

浸水の危険性が高まっている河川を表示

12:11

レーダ雨量（XRAIN）

12:10

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報

12:11

河川カメラ

上庄川水落 上庄川 橋 12:11

12:11

川の水位情報

川の水位情報
・通常水位計
・危機管理型水位計・
河川監視カメラ情報
（CCTV、簡易型）

12:10

洪水予報、水位到達情報

表示範囲内に発表情報はありません。

**洪水予報の
発表地域**

12:10

ダム放流通知

大町ダム
美和

**ダムの
放流通知**

12:11

洪水キキクル（危険度分布）

洪水キキクル
気象庁
浸水害の危険度分布

12:11

土砂キキクル（危険度分布）

土砂キキクル
気象庁
土砂災害の危険度分布

12:12

水害リスクライン

水害リスクライン
・平面的なリスク情報
・河川カメラ

12:10

雨や水位の情報その他、ダムの情報、浸水や土砂災害の危険度情報、自治体の避難情報についても最新の情報が確認可能